

【福島県景気動向指数】

— 平成28年9月分（平成28年11月25日公表） —
（福島県企画調整部 統計課調べ）

1 概 括

9月の景気動向指数（CI：コンポジット・インデックス、H22年=100）は、先行指数85.0ポイント、一致指数91.2ポイント、遅行指数97.8ポイントとなった。

先行指数は、前月（86.2ポイント）を1.2ポイント下回り、2ヵ月振りの下降となった。

一致指数は、前月（95.1ポイント）を3.9ポイント下回り、2ヵ月振りの下降となった。

遅行指数は、前月（97.9ポイント）を0.1ポイント下回り、2ヵ月連続の下降となった。

【景気動向指数について】

景気動向指数には、DI（ディフュージョン・インデックス）とCI（コンポジット・インデックス）があります。DIは構成する指標のうち、3ヵ月前の値に比べ改善している指標の割合を算出することで景気各経済部門への波及・浸透度を主に測定します。一方、CIは指標の動きを合成することで景気変動の大きさやテンポ（量感）を主に測定するものです。DIでは景気の変化した割合を示すが量感は計測できないのに対し、CIでは景気の山の高さや拡張の勢いなど量感を計測することができます。いわば「DIは変化の方向性を示し、CIは変化の大きさを示すもの」です。

2 一致指数の動向

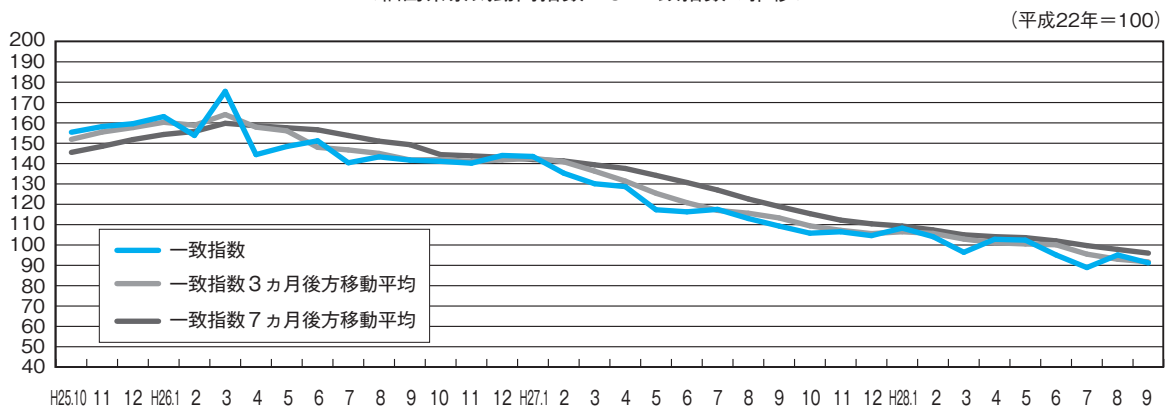
寄与度をみると、有効求人倍率が4ヵ月連続のマイナス、百貨店・スーパー販売額が2ヵ月連続のマイナス、鉱工業生産指数、最終需要財出荷指数、生産財出荷指数、建築着工床面積（鉱工業）及び手形交換金額（1枚当たり）が2ヵ月振りのマイナスであった。

一方、所定外労働時間指数が3ヵ月連続のプラス、雇用保険受給者実人員が4ヵ月振りのプラスであった。

内訳をみると、最終需要財出荷指数がマイナス1.28ポイント、生産財出荷指数がマイナス0.96ポイント、手形交換金額（1枚当たり）がマイナス0.91ポイント、鉱工業生産指数がマイナス0.75ポイント、有効求人倍率がマイナス0.40ポイント、建築着工床面積（鉱工業）がマイナス0.05ポイント、百貨店・スーパー販売額がマイナス0.03ポイントでこれらの指標の動きが下降に寄与した。

3 CI一致系列の推移

＜福島県景気動向指数 CI一致系列の推移＞



(資料：福島県企画調整部統計課)

(注) 「3ヵ月後方移動平均」とは、今月値から過去3ヵ月の平均値を、「7ヵ月後方移動平均」とは、今月値から過去7ヵ月の平均値を指します。

(※「福島県景気動向指数」は3ヵ月ごとに掲載いたします。)